

かわさき楽大師まつりに軽装甲機動車を展示



南極の氷に喜ぶ見学者

神奈川地本川崎出張所（所長・荒木3陸佐）は、4月19日（土）川崎大師で開催された「第10回 かわさき楽大師」に参加した。かわさき楽大師まつりは「願い事が叶う大師（まち）」をテーマに地元商店街、町会、企業、学校、官公庁等が1つになって催しを盛り上げ、来場者は毎年20万人を越える。川崎出張所は「自衛隊PRコーナー」を設け、自衛隊の装備、東日本大震災の写真パネルの展示、砕氷艦「しらせ」によって運ばれた南極の氷・南極の石の展示等、自衛隊の幅広い活動を市民に紹介した。



自衛隊 PR コーナー

今年の目玉は、第31普通科連隊の軽装甲機動車の展示で、来場者は初めて見る戦闘車両に興味津々、黒山の人がかりができた。また、子供用の迷彩服を着着して軽装甲機動車と記念写真を撮るなど自衛隊PRコーナーは大好評であった。来訪者は口々に「今まで川崎市に戦闘用の車両なんて来てなかったよね」「いい事だからこれからもいろんな場所で展示して」と激励の言葉を頂くなど有意義な広報活動となった。川崎出張所は、「今後も装備品の展示等により、親しみやすい自衛隊をPRしていきたい」としている。